

時の証人の会の理念
(Die Idee der Zeitzeugenbörse)

- ・ ベルリンの「時の証人たち」
- ・ は、自分たちの思い出や体験を他の人たちと共有したいと考え
- ・ 一方で、教師、メディア関係者は、体験談を生き生きと語れる人を求めている
- ・ 時の証人の会（ZZB）は、両者を引き合わせる

ZZBは、世代を超えて、体験や経験を分かち合うために、ベルリンの年長者と若者の間の対話を計画し、実践しています。その体験とは：

- ・ 国家社会主義（ナチズム）の時代と戦後
- ・ 分断したベルリンと再統一したベルリンでの生活
- ・ 東・西ベルリンにおける政治的・文化的イベント



ZZBの活動について
(Angebote der ZZB)

歴史を「体験者」から直接聞きたい人および組織に対して：

当会には、幅広い専門的なテーマを網羅する140人の時の証人が登録しており、この中から、議論、プロジェクト、インタビューなどの要望に合わせて、適切な人を選びます。



時の証人たち：

- ・ 自分が歩んだ歴史や体験に興味を持っている人と出会い
- ・ 学校の生徒や学生たちとの議論や質問に備えて、専門家による研修を受け
- ・ 他の証人たちと体験を共有し、他の人から学ぶことが多い

社会に対して：

- ・ ZZBは政治教育に大きく貢献
- ・ ベルリンの市民社会力・社会の共生力を高める
- ・ 世代間の対話を活気づかせる

ZZBの歴史 (Geschichte der ZZB)

時の証人の会（ZZB）は1993年に、多様な活動のための組織的、学術的基盤づくりのパイロットプロジェクトとして設立されました。

ZZBは1998年にNGO団体となり、専らボランティアのメンバーによって運営されています。私たちは、常に活動範囲を広げるという目標を追求し続けています。

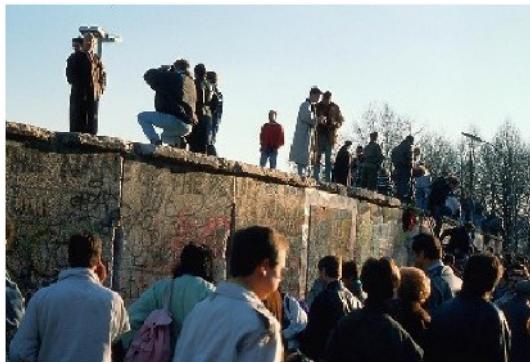
ZZBでは、時の証人のインタビューをアレンジする活動の他、毎月ニュースレターの発行、小本の編集、また、次世代に残すために、高齢の証言者の話を記録

したDVDの制作もおこなっています。
当会に登録している時の証人が扱える
テーマの一例:

- ・ナチス政権下におけるベルリン（ナチス政権下の学校、ヒットラーユーゲント、ホロコースト、移住、レジスタンス運動）
- ・第二次世界大戦とその余波（ベルリン市街戦、防空壕の中の生活、4か国による占領統治および占領区域、闇市場、ベルリン大空輸作戦）
- ・東独政権下の東ベルリン（大衆組織、国家公安局、東ベルリン暴動「1953年6月17日蜂起」、ベルリンの壁建設、ベルリンの壁崩壊）
- ・1949-1989の西ベルリン（分断された町での生活、アメリカ・ケネディ大統領のベルリン訪問、文化的、社会的、政治的出来事）
- ・ドイツ統一後のベルリン（ベルリン再びドイツの首都となる）



二人の時の証人と日本からの教師団、ベルリンのホテルにて



壁崩壊の後: 欽喜—希望—センセーション

時の証人の会に寄せられたコメント (Anmerkungen zur Zeitzeugenbörse)

Z Z Bの活動について、ベルリンを訪問した人や話を聞いた人たちから感謝の言葉が寄せられています。いくつかのコメントを紹介します:

- ・「おかげさまで、私たちの生徒と学生そして教師たちは、大事なことを学ぶ貴重な体験をすることができました」（イギリス、ベッドフォードシャー州行政関係者）
- ・「証言者から聞いた体験、数字、話そして情報は、それが起きた理由、人々の不安そして事實を深く理解する上で非常に役に立ちました。（イギリス、ベッドフォードシャー州行政関係者）
- ・「高齢者の皆さまの話や報告を聞きながら、かつて私が歴史の授業で学んだことを思い出しました。同時に、生徒たちはナチスの時代に対する興味を持つようになりました」（教師）
- ・「かつて私は東ベルリン市民でしたが、旧西ベルリン市民と学生たちとのディスカッションを通して、東西分断の時代における状況をより深く理解することができました」（時の証人）

連絡先:

Zeitzeugenbörse e.V.
Ackerstraße 13
10115 Berlin

info@zeitzeugenboerse.de
www.zeitzeugenboerse.de

私たちちは貴重な記憶を未来のために保存する

Tel.: 0049/30/446378

Fax: 0049/30/446379

事務所営業時間:

月/水/金曜日 10 - 13

(zzb